

1 「相模原市地域水道ビジョン」の策定について

(説明者：土木部長)

(1) 主な意見等

- 同一の負担で同一のサービスを維持できる水道を基本理念に掲げ、小規模水道の市営水道への統合や料金の統一などに取り組んでいくとの説明であったが、県営水道と比較して市営の簡易水道などの料金設定の現状はどのようなものか。  
→ 簡易水道の場合、水道使用量によっても異なるが、一般家庭での使用を想定すると、県営水道の方が若干低い。  
小規模水道は、定額制で料金も低いが、利用者が管理も担うものであり、修繕に係る経費等を考慮すると必ずしも安いとは言えない面もある。
- 津久井地域の水道事業の段階的な整備統合について定めているが、具体的な取り組みについてどのように考えているのか。  
→ 小規模水道、簡易水道の段階的な統合に取り組むとともに将来の県営水道への移管を見据えた施設整備について取り組む計画である。
- 水道事業の統合については、地元の合意形成が重要だと考える。水道ビジョンの策定後も引き続き、統合のメリットを強調しながら住民に説明を続けていく必要があると思う。
- 「基本理念と将来像」について、水道がこうあるべきだというのが将来像だと思う。料金の格差についての記載があるが、それは課題としてとらえるものであり、基本理念ではないと考える。  
→ 課題の箇所に記載するよう変更する。
- 「おわりに」の記載だが、ビジョンに掲げる内容を実現するため留意すべきことを記載するものであるが、県営水道との協議に関する部分など記載内容について精査すべきである。

(2) 結 果

- 原案を一部修正し承認